



【アジア Market 概況】

本日の東京市場では、ドル円は神経質な動きとなりました。朝方は本邦輸入勢の買いを受けて一時 107.57 円まで値を戻す場面もみられましたが、日経平均が下げ幅を広げるにつれて下落。一時 106.85 円まで値を下げました。6 月 25 日の安値 106.78 円が目先の目処として意識されたこともあり、その後は 107.00 円を挟んだみ合いが続きました。市場では「米系短期筋の売り仕掛けが観測された」との声も聞かれています。なお、麻生財務相からは「為替の安定は極めて需要であり相場に注目している」との発言があったほか、武内財務官は「引き続き相場を注視している」と述べています。日経平均は寄り付きから大幅な下落。一時 21000 円を割り込んで売り込まれました。結局、453.83 円安で週末の取引を終えています。

【海外 Market 見通し】

本日の欧州市場では、ユーロドルはもみ合いとなっています。アジア時間は一時 1.1097 ドルと昨日高値の 1.1096 ドルをкаろうじて上抜けたものの、ホワイトハウスが「トランプ米大統領は日本時間 3 日 2 時 45 分に EU 貿易に関して発表する」と表明したことを受けて下落。一時 1.1070 ドルまで下押ししています。市場参加者からは「昨日安値の 1.1027 ドルが目先の目処」との声も聞かれています。ドル円は「米雇用統計を受けた米長期金利の動向に左右される」こととなりますが、「引き続き 6 月 25 日の安値 106.78 円がサポートレベル」として意識されています。今日の経済指標では、17 時 30 分に 7 月英建設業 PMI が発表されます。18 時には 6 月ユーロ圏 PPI、6 月ユーロ圏小売売上高が予定されています。21 時 30 分には 6 月米貿易収支、6 月カナダ貿易収支、7 月米雇用統計が公表されます。23 時には 6 月米製造業新規受注、7 月米ミシガン大消費者態度指数確報値が明らかになります。また、日米閣僚級貿易協議がワシントンで最終日を迎えます。

通貨ペア	高値	安値	16:00時点	通貨ペア	高値	安値	16:00時点
USDJPY	107.57	106.85	106.90	AUDJPY	73.17	72.66	72.84
EURUSD	1.1097	1.1070	1.1086	NZDJPY	70.48	69.93	69.93
EURJPY	119.12	118.44	118.51	日経平均	21211.06	20960.09	21087.16
GBPJPY	130.42	129.35	129.51	TOPIX	1545.47	1526.03	1533.46
CHFJPY	108.58	108.15	108.20	上海総合指数	2872.47	2851.44	2867.84
CADJPY	81.41	80.83	80.85	国債10年債利回り	-0.1560	-0.1740	-0.1650

情報提供元：株式会社DZHフィナンシャルリサーチ
 株式会社DZHフィナンシャルリサーチより提供している情報（以下「情報」といいます。）は、情報提供を目的とするものであり、特定通貨の売買や、投資判断ならびに外国為替証拠金取引その他金融商品の投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定はあくまでお客様ご自身の判断と責任において行ってください。情報の内容につきましては、弊社が正確性、確実性を保証するものではありません。また、予告なしに内容を変更することがありますのでご注意ください。商用目的で情報の内容を第三者へ提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複写もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容によって生じた如何なる損害についても、弊社は一切の責任を負いません。